
2024年3月期第2四半期 決算説明資料

プライム市場 5121
藤倉コンポジット株式会社

2023年12月1日

代表取締役社長 森田 健司



FUJIKURA COMPOSITES

目次

本日お伝えしたいこと

決算情報&業績予想

- 物価高騰、市場の在庫過多の影響を受け、減収となったものの、収益改善活動が進み営業利益は増益
- 下期は住設や液晶半導体市場の回復遅れの影響により減益見込み
- スポーツ用品部門はアフターマーケット市場で好調な販売を継続し、依然高い利益率を維持

企業価値向上の実現に向けて

- PBR 1倍達成に向けた施策について
 - ①稼ぐ力の強化
 - ②新成長戦略
 - ③新株主還元方針
 - ④投資家とのコミュニケーション向上



1. 2024年3月期第2四半期決算



FUJIKURA COMPOSITES

事業に関する 業績要因

売上高

営業利益

2024年3月期上期
事業環境

2024年3月期上期
特殊要因

- 工業用品は世界的な流通在庫過多の影響を受け減収
- 加工品は舶用品の輸出が堅調に推移、印材は撤退発表後特需発生し増収
- ゴルフクラブ市場の在庫過多の影響を受け減収
- 工業用品は海外での価格転嫁が進み利益を確保
- 加工品は舶用品の輸出が堅調で円安も好影響、印材の特需もあり増益
- スポーツ用品はOEMが減少も、自社ブランドシャフトは好調に推移し利益を確保
- 液晶・半導体市場の在庫調整により世界的に設備投資が先送りとなった
- コロナ禍以降拡大していたゴルフ市場の需要が一旦落ち着く
- 自立・帰還支援雇用創出企業立地補助金を特別利益に計上

- 売上高は減少したものの、価格転嫁による収益改善が進み、また売上品種構成の変化により利益は確保

(単位：百万円)

	2022年3月期 2Q実績	2023年3月期 2Q実績	2024年3月期 2Q実績	前々年同期比 (%)	前年同期比 (%)
売上高	17,643	20,284	19,365	+9.8%	▲4.5%
営業利益	2,198	2,171	2,220	+1.0%	+2.2%
営業利益率 (%)	12.5%	10.7%	11.5%	▲1.0pt	+0.8pt
当期純利益	1,940	2,101	2,244	+15.7%	+6.8%

主要セグメント別実績

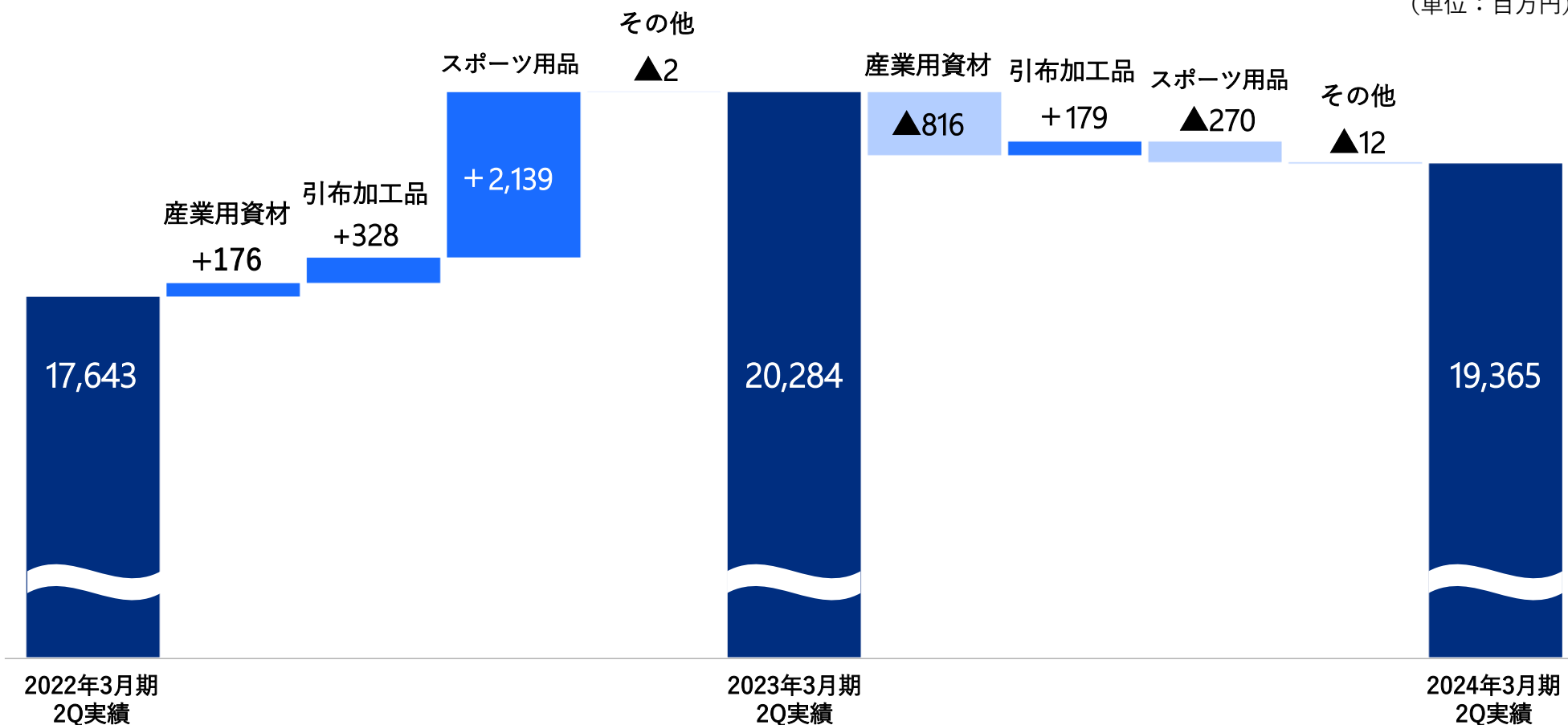
(単位：百万円)

セグメント		2022年3月期 2Q実績	2023年3月期 2Q実績	2024年3月期 2Q実績	前々年同期比 (%)	前年同期比 (%)	トピックス
産業用 資材	売上高	11,395	11,569	10,753	▲5.6%	▲7.1%	<ul style="list-style-type: none"> 工業用品部門は、世界的な流通在庫過多の影響で、減収となりましたが、海外拠点での価格転嫁、固定費削減が進み、増益 制御機器部門は、液晶・半導体市場は海外向け製品の一部で増産等好材料もありましたが低調に推移。医療市場も流通在庫過多の影響で、減収減益
	営業利益	964	40	115	▲88.0%	+187.5%	
	営業利益率	8.5%	0.4%	1.1%	▲7.4pt	+0.7pt	
引布 加工品	売上高	1,980	2,309	2,488	+25.7%	+7.8%	<ul style="list-style-type: none"> 引布部門は、建材用製品や電気・電子分野向けの部材が好調を維持し、増収増益 印刷材料部門は、事業撤退発表後に受注が増加、また円安の影響により、増収増益 加工品部門は、海外向け舶用品が堅調に推移し、円安の影響もあり、増収増益
	営業利益	▲12	44	67	-	+52.3%	
	営業利益率	▲0.6%	1.9%	2.7%	+3.3pt	+0.8pt	
スポーツ 用品	売上高	4,080	6,220	5,949	+45.8%	▲4.4%	<ul style="list-style-type: none"> ゴルフ用カーボンシャフト部門は、流通在庫過多の影響を受け減収減益となりましたが、『VENTUS』『SPEEDER NX』の主力モデルに加え『TRAVIL Iron』がアフターマーケット市場で好調を維持し、高い利益率を維持 アウトドア用品部門は、登山靴の主力モデル『C1_02S』の販売が好調を維持し、増収増益
	営業利益	1,489	2,340	2,327	+56.3%	▲0.6%	
	営業利益率	36.5%	37.6%	39.1%	+2.6pt	+1.5pt	

2024年3月期第2四半期 売上高の増減要因分析（セグメント別）

2022年3月期 2Q実績 ⇒ 2023年3月期 2Q実績 ⇒ 2024年3月期 2Q実績

(単位：百万円)



為替レート：毎月の変動レートに変更



前年同期実績比
+2,641百万円

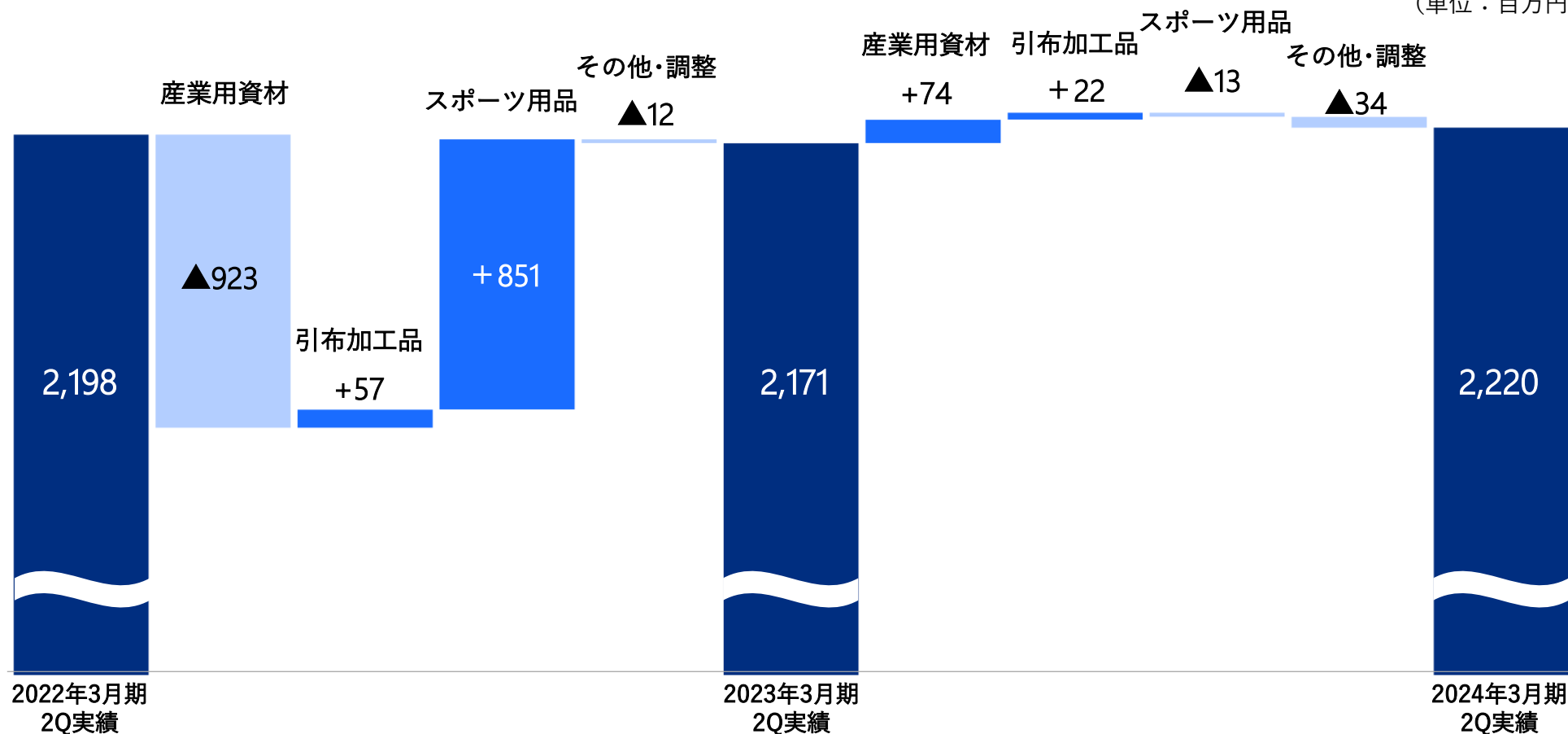


前期実績比
▲919百万円

2024年3月期第2四半期 営業利益の増減分析（セグメント別）

2022年3月期 2Q実績 ⇒ 2023年3月期 2Q実績 ⇒ 2024年3月期 2Q実績

(単位：百万円)



為替レート：毎月の変動レートに変更



前年同期実績比

▲27百万円



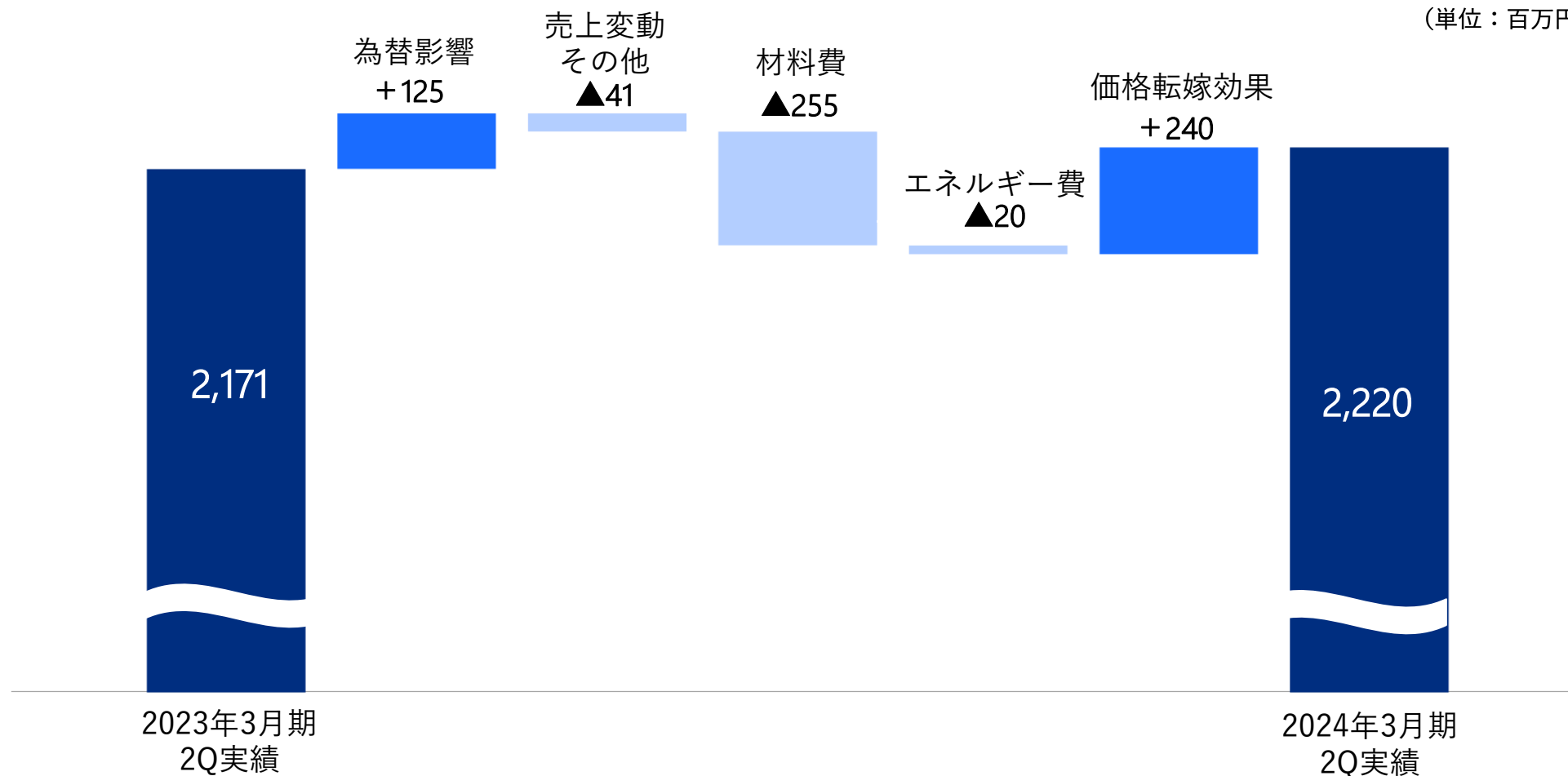
前年同期実績比

+49百万円

2024年3月期第2四半期 営業利益の増減分析（要因別）

2023年3月期 2Q実績 ⇒ 2024年3月期 2Q実績

（単位：百万円）



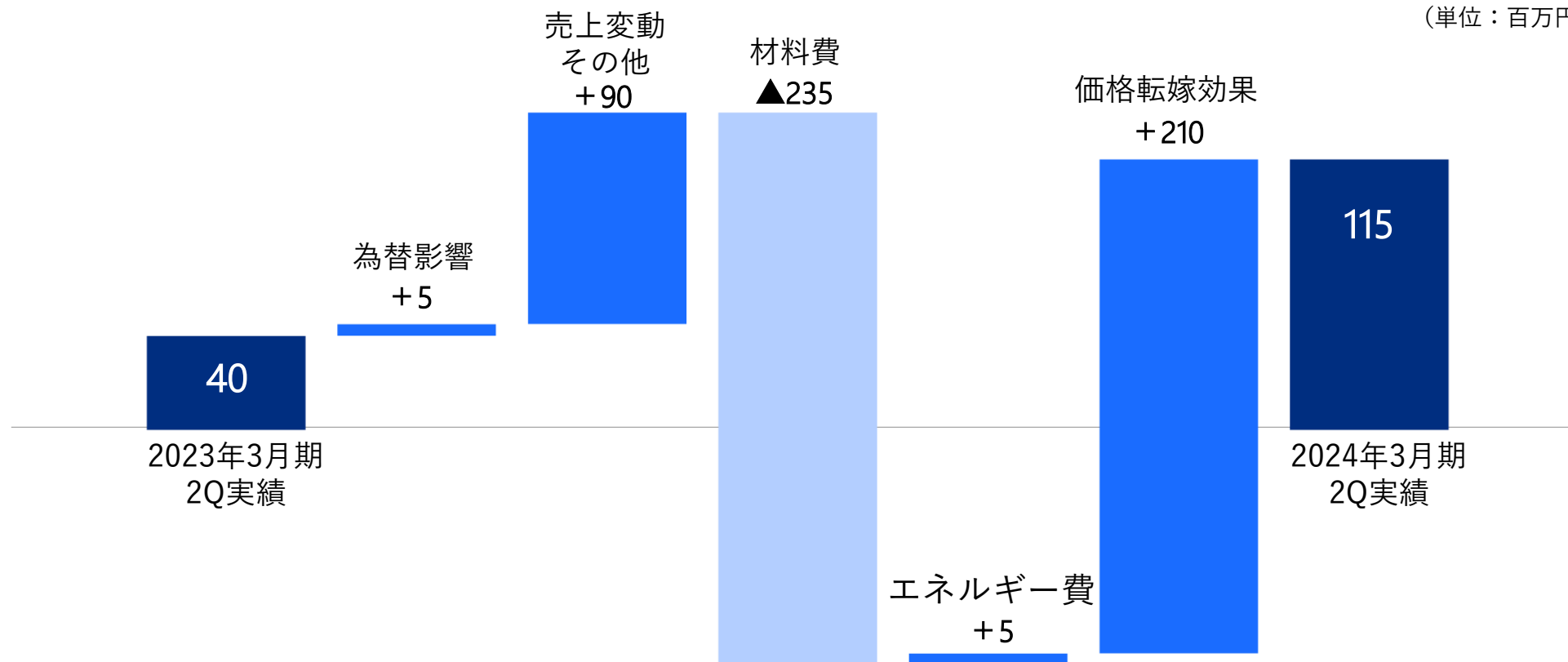
為替レート：毎月の変動レートに変更



前期実績比
+49百万円

2023年3月期 2Q実績 ⇒ 2024年3月期 2Q実績

(単位：百万円)



為替レート：毎月の変動レートに変更

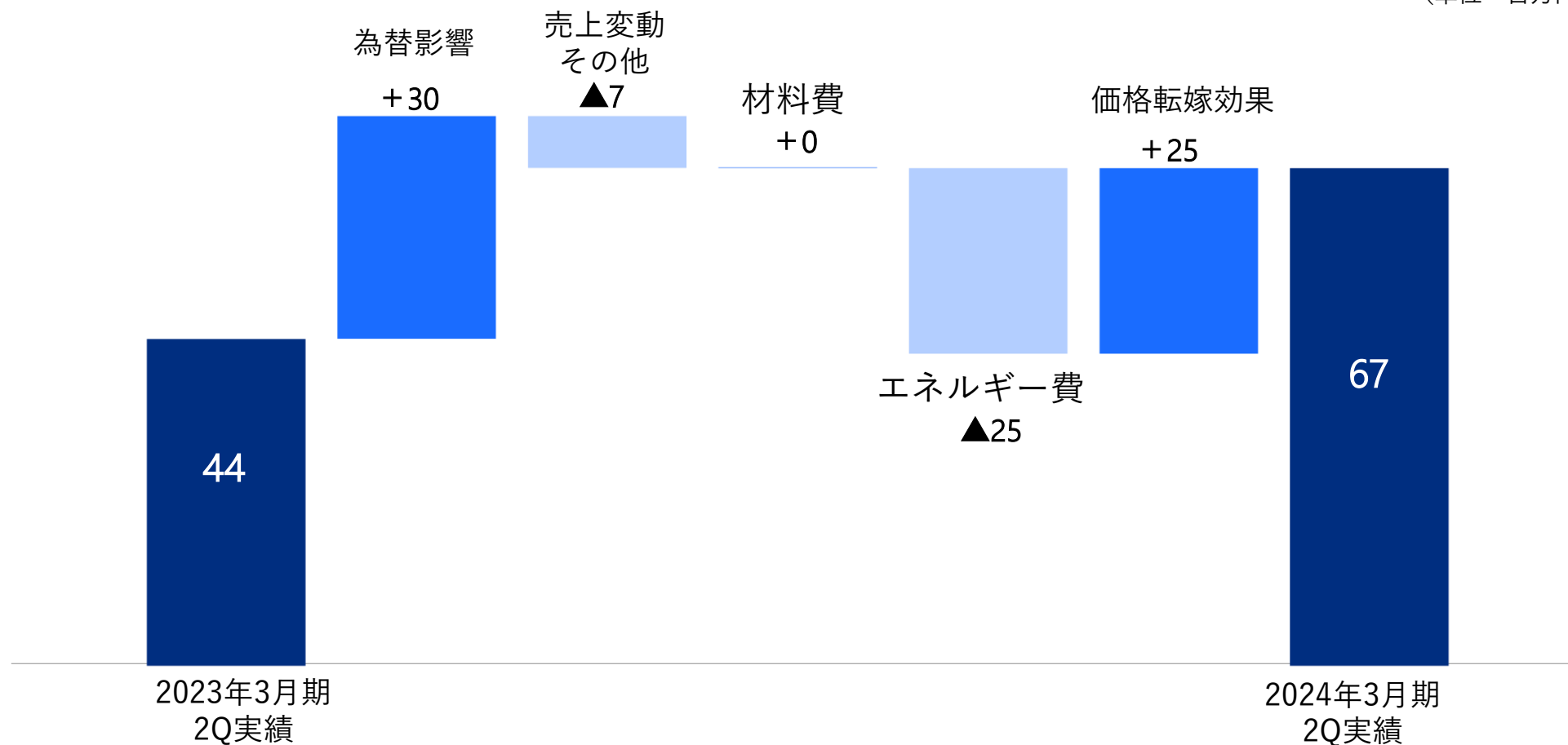


前期実績比
+74百万円

2024年3月期第2四半期 引布加工品営業利益の増減要因分析

2023年3月期 2Q実績 ⇒ 2024年3月期 2Q実績

(単位：百万円)



為替レート：毎月の変動レートに変更

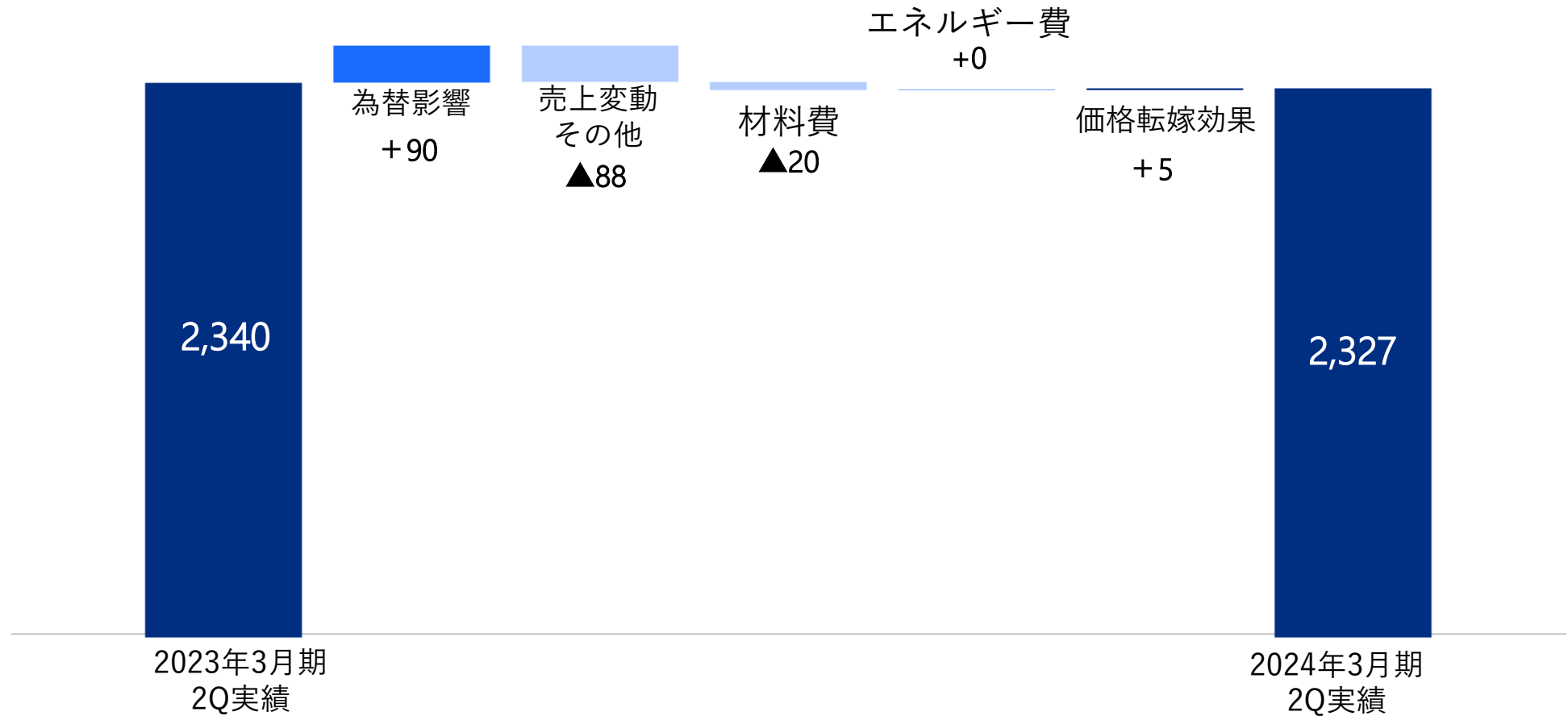


前期実績比
+22百万円

2024年3月期第2四半期 スポーツ用品営業利益の増減要因分析

2023年3月期 2Q実績 ⇒ 2024年3月期 2Q実績

(単位：百万円)



為替レート：毎月の変動レートに変更



前期実績比

▲13百万円

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2023年3月期		2024年3月期2Q			内容
	期末残高	構成比	期末残高	構成比	増減額	
流動資産	26,184	64.9%	28,202	66.2%	+2,018	・現金や預金及び棚卸資産が増加
固定資産	14,190	35.1%	14,395	33.8%	+205	・投資有価証券の増加
資産合計	40,374	100.0%	42,597	100.0%	+2,223	
流動負債	5,199	12.9%	4,806	11.3%	▲392	・買掛金の減少
固定負債	1,832	4.5%	1,890	4.4%	+58	・繰延税金負債の増加
負債合計	7,032	17.4%	6,697	15.7%	▲334	
純資産合計	33,342	82.6%	35,900	84.3%	+2,558	・利益剰余金、為替換算調整勘定の増加
負債・純資産合計	40,374	100.0%	42,597	100.0%	+2,223	













II. 2024年3月期業績予想



FUJIKURA COMPOSITES

2024年3月期 主要な外部環境

	2024年3月期 上期結果	2024年3月期 下期予想	外部環境	当社の取り組み
産業用資材 自動車・ 住宅設備・ インフラ			<ul style="list-style-type: none"> ● 日米の自動車市場は回復基調 ● 住宅設備関連は市場在庫過多が今後も継続 	<ul style="list-style-type: none"> ● 価格転嫁活動、原価低減活動の推進 ● 新規品の立上げを確実に実施
産業用資材 液晶・半導体			<ul style="list-style-type: none"> ● 半導体市場は今後しばらく厳しい状況が継続 ● 液晶市場は在庫調整が続き、2024年上期までは厳しい状況が継続 	<ul style="list-style-type: none"> ● 価格転嫁活動のより一層の推進 ● カスタマー展示会、拡販活動に注力
産業用資材 医療			<ul style="list-style-type: none"> ● 医療関連は市場在庫の調整が続く 	<ul style="list-style-type: none"> ● 医療部材の立上げに注力
引布加工品			<ul style="list-style-type: none"> ● 国の防衛装備予算増額などが予定通り推移 ● 小型船舶用の救命装置の義務化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 印材の撤退特需による黒字化 ● 小型船用品の新型浮器の立ち上げ
スポーツ用品			<ul style="list-style-type: none"> ● コロナ禍によるゴルフ需要急拡大が一旦落ち着き、市場在庫が過剰 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自社ブランドの新製品の販売に注力 ● ブランド価値向上活動の推進

- 自動車市場は下期に向け急回復を予想するも、住設機器・液晶・半導体・医療機器については回復が遅れる見通し
- ゴルフ市場の需要は一旦落ち着く予想も、高シェアの維持を目指す

(単位：百万円)

	2023年3月期 実績	2024年3月期 予想	前期比 (%)	前期比 増減額
売上高	40,687	39,900	▲ 1.9%	▲ 787
営業利益	4,432	4,100	▲ 7.5%	▲ 332
営業利益率 (%)	10.9%	10.3%	▲ 0.6%	-
当期純利益	3,947	3,400	▲ 13.9%	▲ 547

主要セグメント別予想値

セグメント		2023年3月期 実績	2024年3月期 予想	前期比 (%)	トピックス
産業用 資材	売上高	22,433	22,000	▲1.9%	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自動車 <ul style="list-style-type: none"> ・ 過剰流通在庫の解消が進み、下期に向け回復を見込む。引き続き価格転嫁及び固定費削減を進め利益率改善を進める。 ■ 住設 <ul style="list-style-type: none"> ・ 給湯器・水関連は在庫調整局面がしばらく続く見込み。新規品の立上げ、価格転嫁、原価低減を進める。 ■ 制御 <ul style="list-style-type: none"> ・ 半導体市場・液晶市場も在庫調整が続く、2024年に回復の予想も低調な見込み。価格転嫁・展示会で新規開拓活動を進める。 ■ 医療 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市場在庫調整局面のため、量産遅れ品の立上げに注力する。
	営業利益	104	500	+380.8%	
	営業利益率	0.5%	2.3%	+1.8pt	
引布 加工品	売上高	4,994	5,200	+4.1%	<ul style="list-style-type: none"> ■ 引布 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自動車向けは回復が遅れているが、建材用シート・電気・電子分野向けの部材が好調に推移し増収を見込む。 ■ 加工品 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小型船舶の新製品の立ち上げにより増収を見込む。 ■ 印材 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業撤退の特需で大幅な増益となる。
	営業利益	45	200	+344.4%	
	営業利益率	0.9%	3.8%	+2.9pt	
スポーツ 用品	売上高	12,901	11,200	▲13.2%	<ul style="list-style-type: none"> ■ シャフト <ul style="list-style-type: none"> ・ ゴルフシャフト市場の需要は一旦落ち着くも、アフタマーケット市場では高い利益率を確保。 ■ アウトドア <ul style="list-style-type: none"> ・ キャラバンは主力製品のシューズ類が好調に推移し増収増益の見通しとなる。
	営業利益	4,786	4,200	▲12.2%	
	営業利益率	37.1%	37.5%	+0.4pt	

2021年3月期-2025年3月期
第6次中期経営計画

第6次中期経営計画 21年3月期-25年3月期

TRANS) FORM

変化にチャレンジし、「変わる」から「変える」へ

成長期

回復期

中期経営計画 フェーズ1

2021年3月期 – 2023年3月期

中期経営計画 フェーズ2

2023年3月期 – 2025年3月期

単位： 百万円		売上高	営業利益	営業利益率
実績	2021年3月期 (142期)	29,275	1,172	4.0%
実績	2022年3月期 (143期)	37,190	4,160	11.2%
実績	2023年3月期 (144期)	40,687	4,432	10.9%
3年間合計(実績)		107,152	9,764	9.1%

単位： 百万円		売上高	営業利益	営業利益率
実績	2023年3月期 (144期)	40,687	4,432	10.9%
見通	2024年3月期 (145期)	39,900	4,100	10.3%
見通	2025年3月期 (146期)	40,000	4,500	11.2%
3年間合計(見通)		120,587	13,032	10.8%

当中期経営計画値変動要因

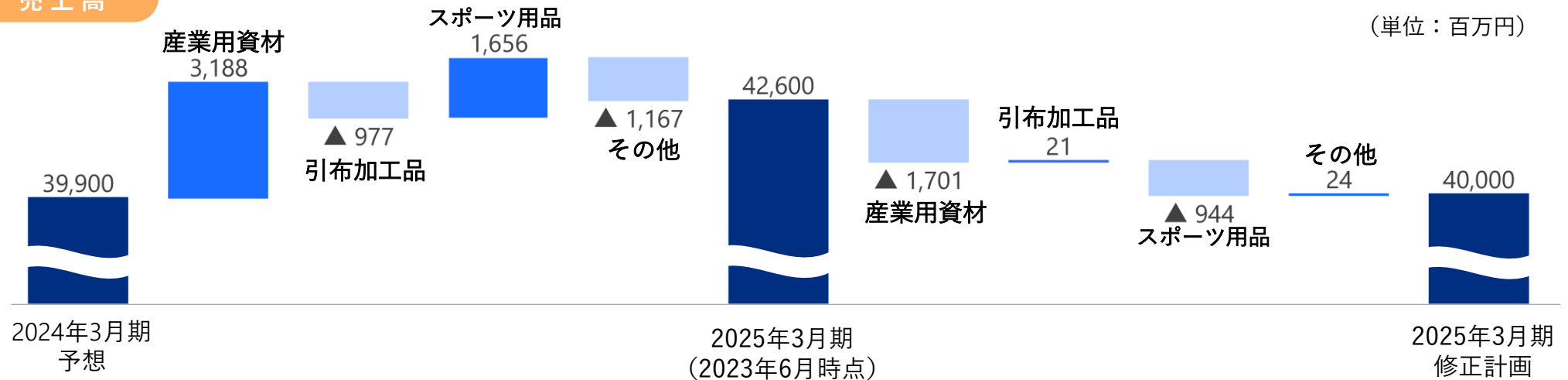
■ 産業用資材

自動車市場は流通段階における過剰在庫の解消が進み回復を見込んでいるものの、住設、液晶・半導体ともに市場での在庫調整により回復は先送りになると予想

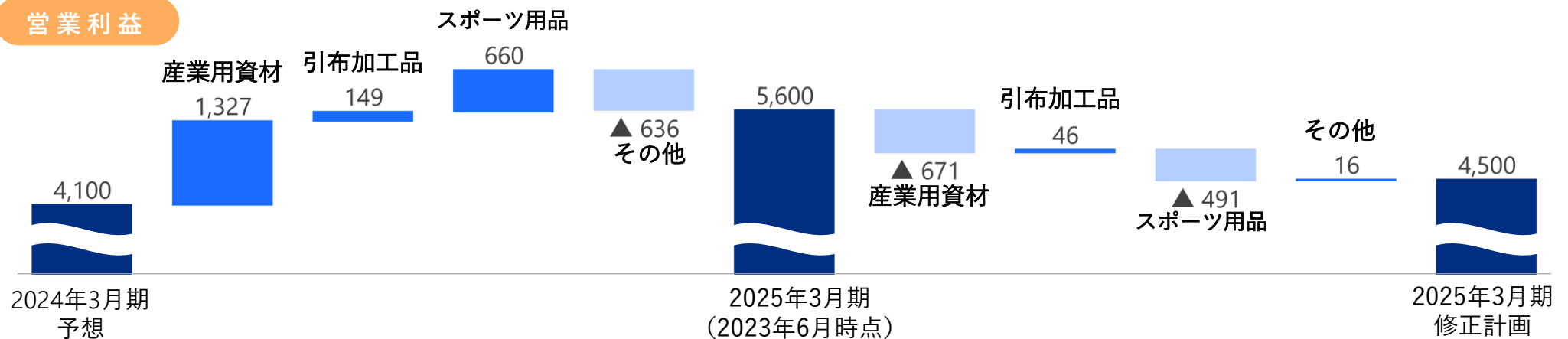
■ スポーツ用品

ゴルフクラブ市場の在庫過多の解消に期初予想よりも時間がかかると予想

売上高



営業利益



※投資計画の進捗状況に応じて、計画値を変更する可能性があります



III. 企業価値向上の実現に向けて



FUJIKURA COMPOSITES

基本方針

「変わる」から「変える」へ ～TRANSFORM～

主要経営指標の目標値達成もPBR 1倍が達成出来ていない。

現在の経営指標の状況

	2011-2021 (平均)		2022-2023	目標値
営業利益率	3.8%	▶	11.0%	10.0%以上
ROE	5.5%	▶	11.8%	10.0%以上
	2013		2023	目標値
自己資本比率	56.4%	▶	82.6%	60%以上
	2013		2023	目標値
PBR	0.8倍	▶	0.8倍	1.0倍以上
PER	15倍	▶	9.0倍	10.0倍以上

課題認識

1. スポーツ用品セグメント以外のセグメントの収益性の低さ
2. 将来にわたる持続的な成長を可能とする戦略の説明不足
3. 新成長戦略に向けた再投資の遅れ
4. 株主資本に対する株主還元が不十分
5. IR（投資者とのコミュニケーション）が不足

企業価値向上に向けた一つの目安として PBR1倍超を目指し各種施策を実行

①稼ぐ力の強化

各事業の
資産見直し

スポーツ用品セグメントにおける
FRP製品の事業多角化・PR領域の拡大

人的資本への大幅投資

DX投資・自動化
への投資

ガバナンス強化に
向けた投資

②新成長戦略

成長分野への
リソース再配分

新規分野への投資

R&Dの強化

経営戦略委員会の設置
などガバナンス強化

③新株主還元方針

利益還元方針を強化

株主資本配当率による
還元

長期株主優待制度の
新設

④投資家との コミュニケーション向上

決算説明会
年2回開催

個別面談の
積極的实施

IR交流会の発足



企業価値の 最大化

目標

PBR 1倍超

資本コストや株価を意識した経営の実現を進め
中長期的な企業価値向上を目指す



「稼ぐ力の強化」投資額

70億円

- 各事業の資産見直し
- スポーツ用品セグメントの領域拡大
- 人的資本への大幅投資
- DX投資・自動化への投資
- ガバナンス強化に向けた投資

→ブレイクダウンした内容は23P

「新成長戦略」投資額

45億円

- 成長分野へのリソース再配分
- 新規分野への投資
- R&Dへの投資額
- 経営戦略委員会

→ブレイクダウンした内容は28P



PBR 1倍達成に向けた施策について

①稼ぐ力の強化

②新成長戦略

③新株主還元方針

④投資家とのコミュニケーション向上



「稼ぐ力の強化」投資金額：70億円

	投資金額	具体的施策
各事業の 資産見直し	約42億円	<ul style="list-style-type: none"> 小高工場再稼働に向けた新規投資 印材部門からの撤退 資本コストを上回った付加価値を生み出しているか再検証 生産設備や生産拠点の統廃合を進め、資産のスリム化・強靱化を実行
スポーツ用品 セグメントの 領域拡大	約7億円	<ul style="list-style-type: none"> あらゆる産業分野の軽量化要求にこたえるFRP製品の拡大 ゴルフシャフト製造ラインの強化、各種FRP製品の一貫生産ラインの構築 キャラバンシューズのブランド力を生かし、新市場へ展開 <p>→ブレイクダウンした内容は24P～27P</p>
人的資本への 投資	約14億円	<ul style="list-style-type: none"> 事業環境の変化に対応した目指す人材ポートフォリオの実現 エンゲージメント向上に対する取り組みの強化 評価制度の見直しを行い、新たな分配制度として従業員株式報酬制度を導入 従業員のキャリア開発支援に向け、教育訓練や海外経験の機会提供 障害者雇用制度の拡充（特例子会社の有効活用）
DX投資・自動 化への投資	約6億円	<ul style="list-style-type: none"> DXを導入し、業務の生産性向上と経営のスピードアップを進める 生産工程の自動化を推進し、コスト競争力の向上を図る
ガバナンス 強化 への投資	約1億円	<ul style="list-style-type: none"> ガバナンス高度化に向け、取締役会及び経営会議のアジェンダ再設定 実効性評価の第三者機関の関与 サイバーセキュリティリスクの取組み

F R P 製品の事業多角化と P R 活動領域の拡大により
今後も安定した収益の確保を目指す

投資金額：7億円



小高工場

1 産業用品一貫製造ラインの構築

小高工場へ移設

- ・ 産業用品製造ラインを構築し品質保証体制を整える
- ・ 新たな生産設備を導入し開発、生産技術機能を拡充



ドローン



ロボットアーム



ローターカバー

2 ゴルフシャフト製造ライン強化

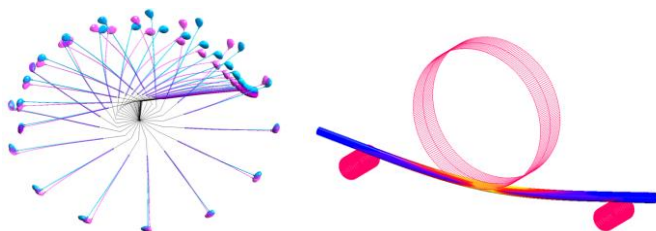
小高工場へ移設

- ゴルフシャフト製造ラインを再構築し高機能製品に特化
- 試打場併設の対外的なアピール機能を持った工場を実現

強度計算～試作～特性評価を自社内で一貫して行えることこそが強み

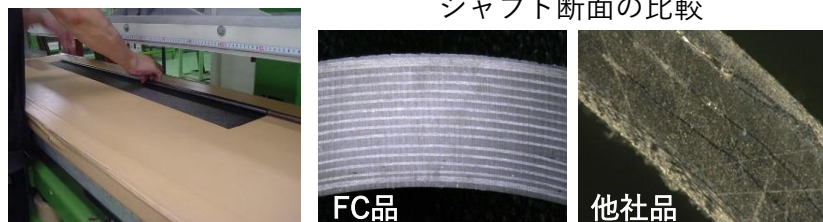
■ 解析・強度計算

- 解析専門部門によるCAE解析
- 独自に取得した材料物性



■ 積層設計・成形

- ゴルフシャフトで培った
高い成形技術と安定性材料メーカーとの信頼関係
シャフト断面の比較



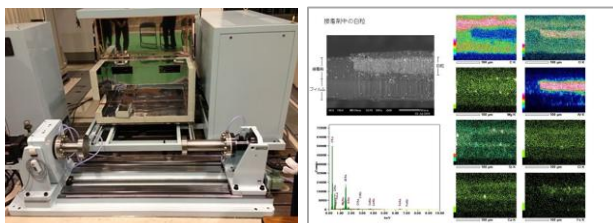
■ 組立て

- ゴム製品の技術を応用した
高度な接着技術



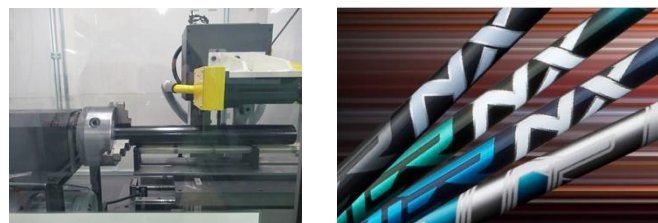
■ 試験・分析

- 多彩な試験・分析が
自社内で実施可能



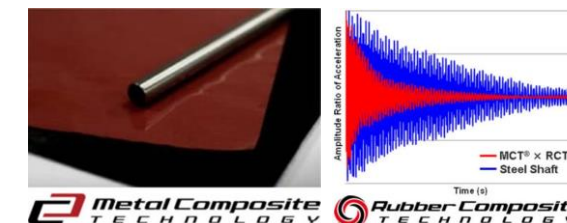
■ 生産能力

- **ゴルフシャフトの生産能力**
- 海外工場を保有している=大量生産，低価格



■ 新技術開発能力

- 金属・ゴム等 異材一体成形
- 客先要求への対応力



3 アウトドア用品（キャラバン）の販売拡大

軽量化

- ・従来のキャラバンシューズよりも軽量のモデルを開発
- ・より多くの層が使用できるタウンシューズへ進化



Cross Gen

認知症徘徊捜索用GPS（iTSUMO／いつも）専用シューズ

- ・履きやすさ、履き心地、歩き心地にこだわった専用設計
- ・違和感なくGPSデバイスの収納が可能



※開発中の製品です

ソールの開発

- ・藤倉コンポジットの技術によりコンパウンドをリニューアル！
- ・グリップ力を向上させた登山者の安全に配慮したモデルです。



足裏全体をカバーする3D スタビリティパーツが安定性と剛性、軽量化を実現



軽量のEVAミッドソール

剛性のある3Dパーツ 軽量のアウトソール



アウトソールラバーは接地部分と屈曲性を計算し、抜きを行い、軽量化を実現した。



発泡TPUシート
高耐摩耗性と軽量を両立



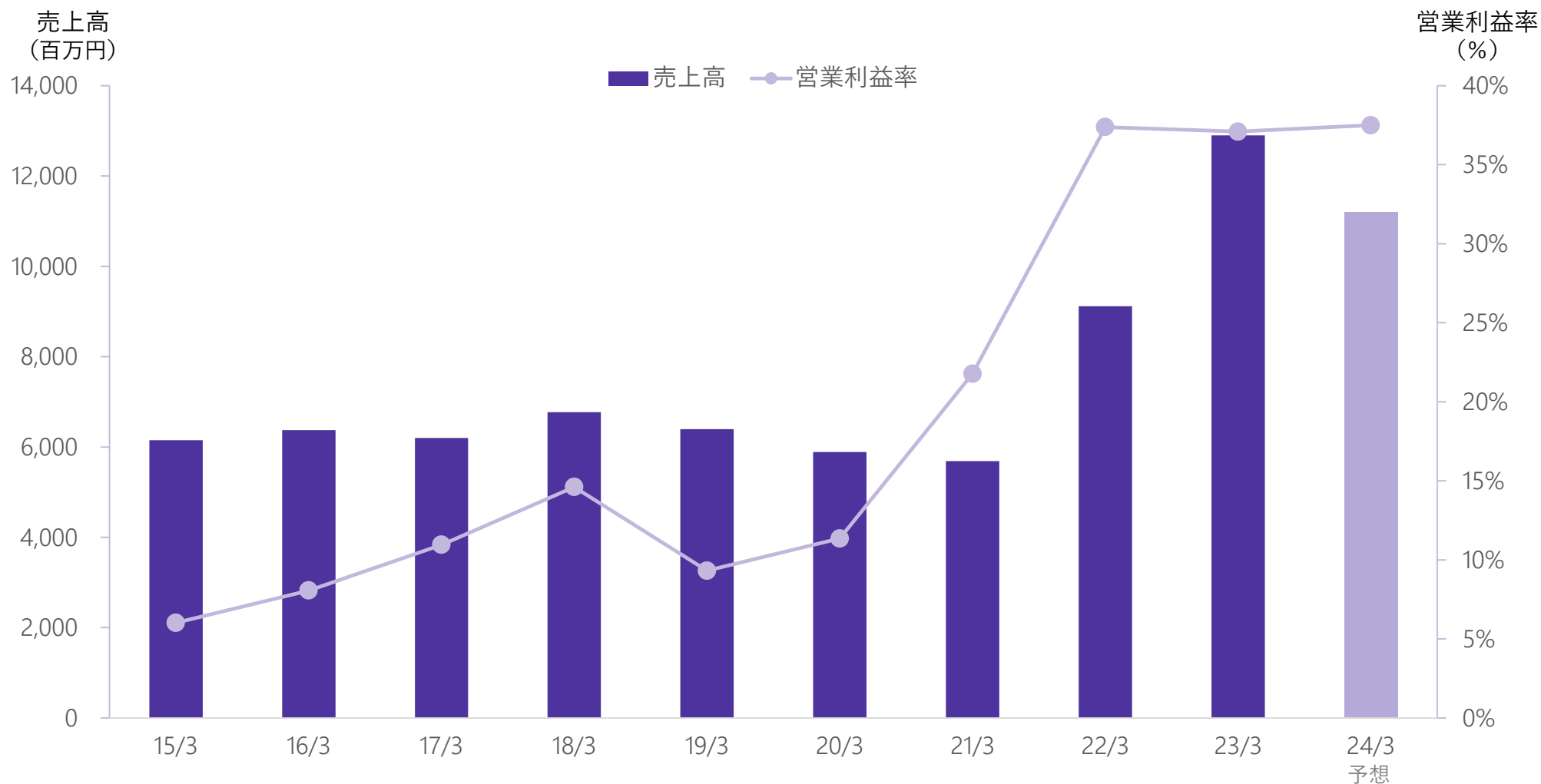
無製法によるステッチ切れ防止、しなやかなフィット感



高通気EVAインソール

稼ぐ力の強化：スポーツ用品セグメントの領域拡大④

- ここ3年で右肩上がり急成長
- 自社ブランドのアフタマーケット市場で高い利益率を確保



PBR 1倍達成に向けた施策について

①稼ぐ力の強化

②新成長戦略

③新株主還元方針

④投資家とのコミュニケーション向上



FUJIKURA COMPOSITES

「新成長戦略」投資金額：45億円

成長分野へのリソース再配分

5つの分野を成長分野と位置付け、組織の見直しを行い、経営資源であるヒト・モノ・カネ・情報を再配置を実行

次世代自動車

半導体

安全（救命）

医療

新エネルギー

- ・ 自動車の電動化市場へのアプローチを強化
- ・ 液晶・半導体関連の拡大
- ・ 医療関連事業の強化
- ・ 液体検知センサの開発を強化
- ・ 改良型内部収容型救命浮器を開発

新規分野への投資

積極的に資金配分を実施。事業ポートフォリオの変革に取り組み、将来のシナジー効果創出のM&Aやスタートアップ・大学研究機関との提携など幅広く検討

M&A

スタートアップ

大学研究機関との産学提携

- ・ Fu Yu社との業務提携により、シナジー効果創出
- ・ スタートアップとのオープンイノベーションを通じて新規分野への拡大
- ・ 当社主導による学会へのアプローチ強化

R&Dへの投資

将来に向けた基礎研究の充実と開発体制の強化

- ・ AIやMI（Materials informatics）を応用した基礎研究の充実により、開発期間の大幅な短縮を実現
- ・ 社内エントリー制度を活用した開発体制の創設

経営戦略委員会

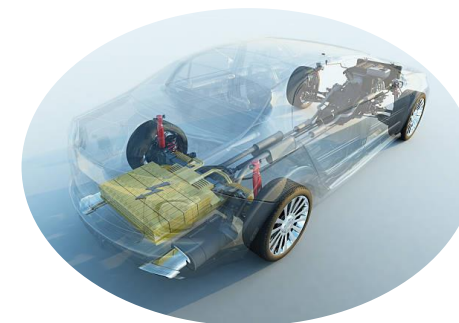
中長期的で幅広い多様な観点から株主視線で重要な経営テーマについて検討

- ・ 取締役会の実効性評価
- ・ 中長期経営戦略
- ・ M & A や事業提携などグループ成長戦略
- ・ サステナビリティ関連投資

産業用資材
自動車

自動車の電動化市場へのアプローチを強化

- 自動車電動化に伴うニーズに応えるため、技術開発と拡販に注力
- PHEV・BEV・FCVをメインターゲットとし、構成ユニットごとのアプローチを実践



電動化市場向け取組例

- LIB関連
各種機能材の開発・拡販
- 防爆弁の開発・拡販
- 冷却水コントロールバルブ
各種シール材の開発
- FCV関連各種シール材の
開発
- その他各種電動ユニット
向けアイテムの開発・拡販

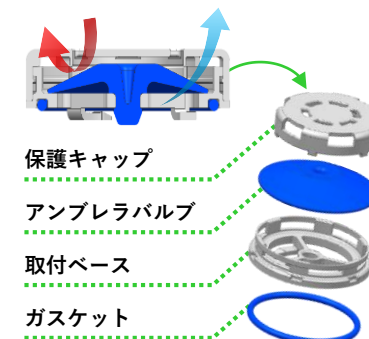
リチウムイオンバッテリー（LIB）市場量産実績例

バッテリーパック
耐火膨張材



空間閉塞機能にて、
熱暴走時に発生する高温ガス
及び炎を遮断。

【新規】車載バッテリー向け防爆弁



バッテリー熱暴走時におけるリスクヘッ
ジ。
発生するガス（内圧）を緊急開放し、
車両火災を防ぐ。

産業用資材

液晶・半導体市場向け製品、医療関連製品の拡大

- 大型半導体製造装置の加工・組み立て事業への進出
- ワクチン・バイオ医療・再生医療に貢献するディスプレイ部品等の製造

液晶・半導体

小高工場の建屋を改修し、制御工場を新設



■ 精密加工・組立のラインを設置

- 液晶・半導体製造装置を中心とした、構造部材の加工及び組立を行う
- 常時温度管理された環境での精密加工が可能

医療

原町工場のクリーンルームで生産を強化



機器関係

- 酸素濃縮器業界
- 人工心肺装置業界
- 人工透析装置業界

部材関係

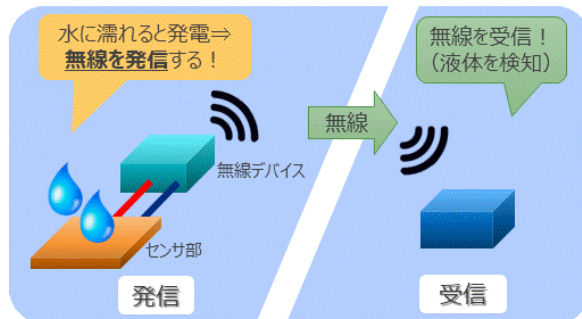
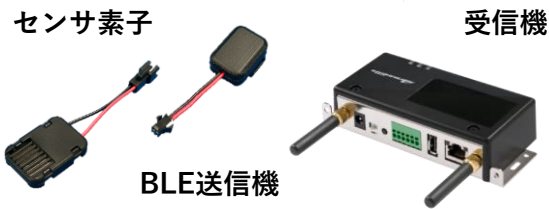
- シリコンゴム成形品
- シングルユース製品
- 逆止弁

産業用資材 センサ

液体検知センサの開発状況について

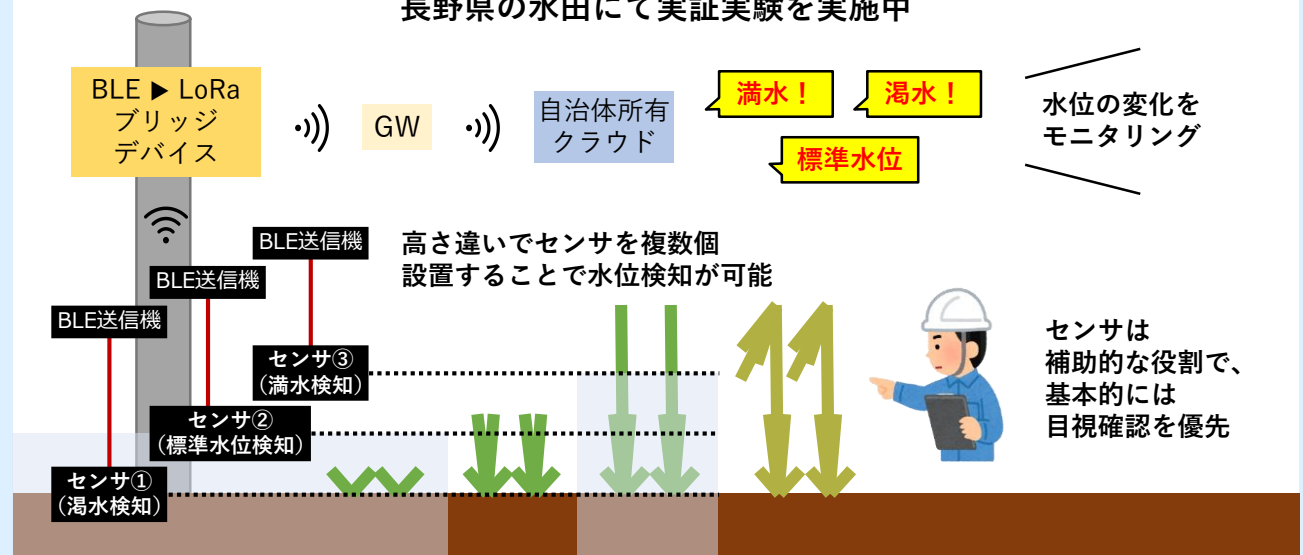
- 水を含む「液体」がセンサに接触することでセンサ自体が発電
- 発電した電力を用いて、液体との接触を遠方へ報知する自己発電型デバイス
- 優れた発明として、「MODE センサーアワード2023 イノベーターズセンサー賞」を受賞

ワンコインサイズで、
様々な用途で活用できる
画期的なバッテリーレスセンサ



New！水田の水位監視システム

長野県の水田にて実証実験を実施中



・人の目が必要な作業をIoT化 ・ 農家の負担軽減、作業効率化に貢献

引布加工品

改良型内部収容型救命浮器を開発

- 小型旅客船等への改良型救命いかだ等の導入を補助する『小型旅客船等安全対策事業費補助金』の公募を開始
- 当社は、補助金の対象となる『改良型内部収容型救命浮器』を開発中
⇒いのちをささえる事業に注力



◀ 25人定員の改良型救命浮器＋固定式スライダー品を先行して開発。

- 積み付け高さ1.2m～1.5mで、補助レールは脱出用スライダーとして機能。
- 浮器はオーバル型で、舷側追従と移乗しやすさを重視。
- 浮器はリバーシブルで、反転してもそのまま使用可能。
- 天幕なしで、防寒・防水のための保温具を要求。

産業用資材

Fu Yu社との業務提携

- 2023年9月にシンガポールのFu Yu社と業務提携を締結
- 全社的な事業構造の変革を推進
- 相互の強みを活かし、シナジー効果の最大化

提携分野



金属
製品

Fu Yu社の
持つ技術

樹脂
製品

Fu Yu社の
持つ技術



シナジー効果



ゴム
製品

当社の
持つ技術

CFRP
製品

当社の
持つ技術



- 部材としてお客様へ納品してきた製品のユニット化
- より付加価値の高い製品でお客様へ提案

新製品群で
次のステージへ向かう

スポーツ用品

アフターマーケット市場は好調継続、
さらにゴルフの楽しさを提供するため、新製品投入！

- 上期はTRAVIL アイアン（7月）とSPEEDER NX BLACK（9月）を発売開始。
- 下期は新製品の拡販強化に努め、後半には2024春新製品を発売予定。

SPEEDER NX BLACK



待望の先中調子がラインナップ。
ボールのバラつきを軽減し、
飛距離と安定性を両立。

TRAVIL



国内男女ツアー選手を対象に
実践でテストを重ねて製品化した、
新たなアイアンシャフト。

スポーツ用品

TRAVILに込められた技術力

- テストを重ね、落下角、フィーリングともに高いレベルにて製品化
- 当社の祖業である引布部門の技術を駆使した極薄ゴムシートを搭載



特長

「グリーンを狙って止められる」V 誕生



フジクラ独自の重心調整技術により、振り心地を損ねることなくスチールシャフトと同等のクラブバランスへ



ゴムによりソフトな打感が得られ、シャフトのしなり戻りを緻密にコントロール ⇒ プレイヤーが意図する挙動を実現



Tour Ability Structureを採用し、手元の剛性を抑えつつ、先端を高剛性化 ⇒ シャフトが粘ることで、ヘッドの操作性を高め、緩やかな入射角に


特長

思いを込めたブランド名

T	R	A	V	I	L
TOUR RATED		ABILITY		Victory	
ツアーで 評価された証明		新たな 能力・性能・才能		勝利を掴む	

■ 製品詳細スペック

モデル	フレックス	製品長	重量	トルク	Tip径/デーパー長	Butt径	調子
TRAVIL IRON 85	R		86.5	2.7		14.85	
	S		88.0	2.7		14.90	
TRAVIL IRON 95	R	39.0	97.0	2.3	9.05/40mm	14.90	中元
	S	~35.5	99.0	2.3		14.95	
TRAVIL IRON 105	S		108.0	2.2		14.95	
	X		110.0	2.2		15.00	
TRAVIL IRON 115	S		118.0	2.0		15.15	
	X		120.0	2.0		15.25	



PBR 1倍達成に向けた施策について

①稼働力の強化

②新成長戦略

③新株主還元方針

④投資家とのコミュニケーション向上



FUJIKURA COMPOSITES

持続的な成長および企業価値向上、適正な株価維持、長期安定株主の確保に向け、積極的な投資活動の実行と、株主の皆様に対し更なる利益還元の充実

新株主還元方針

株主資本配当率（DOE）

4.0%以上を目安。

1株あたり年間配当額は45円を下限

配当

中間配当と期末配当の年2回

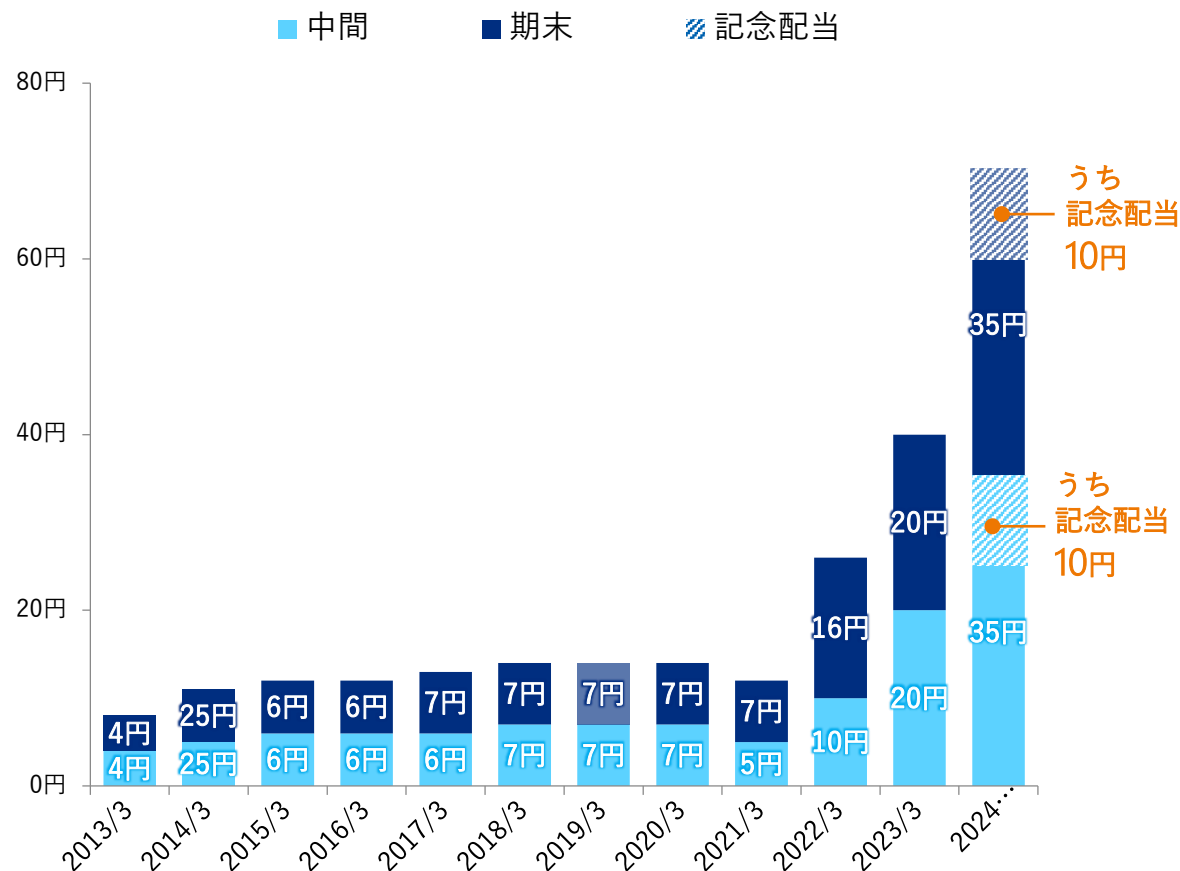
自己株式取得

資本効率株価の状況を加味して継続的かつ段階的に自己株式の取得実施

株主優待

500株以上3年以上の保有の株主に対して長期優待制度を新設

1株当たり年間配当金の推移



PBR 1倍達成に向けた施策について

①稼ぐ力の強化

②新成長戦略

③新株主還元方針

④投資家とのコミュニケーション向上

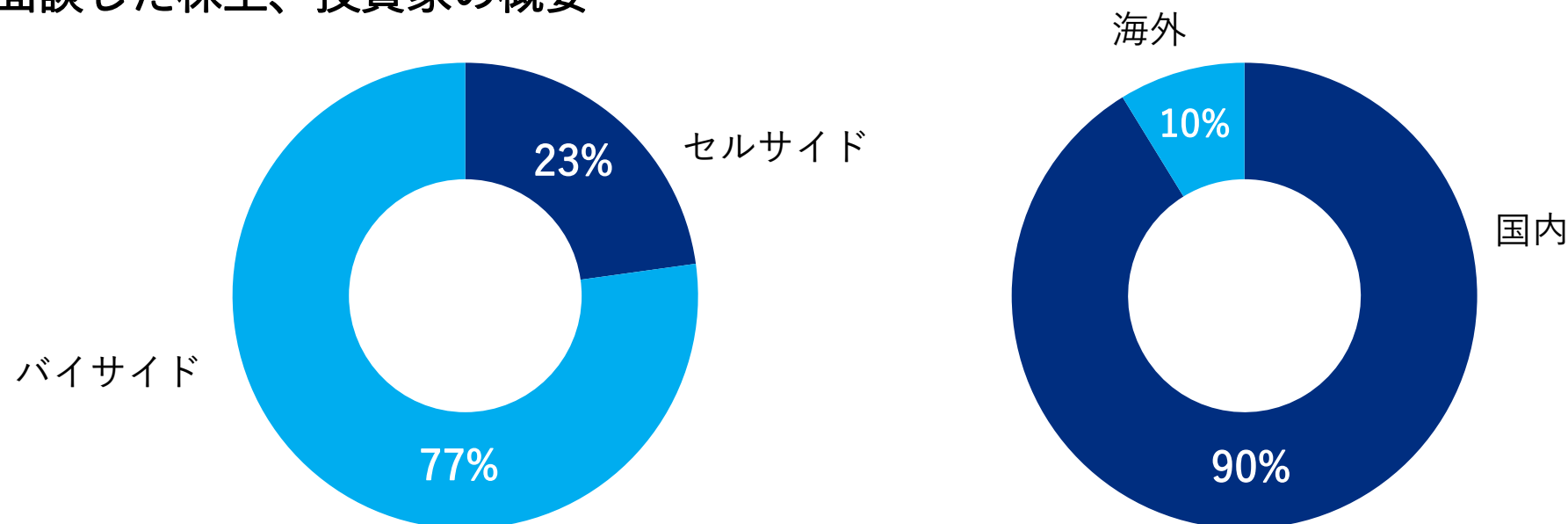


FUJIKURA COMPOSITES

■ 2023年3月期の面談の状況

種別	回数	主な対応者
決算説明会	2回	代表取締役社長、常務取締役管理本部長 経理部長、経営企画室長
個別面談	57回	常務取締役管理本部長

■ 面談した株主、投資家の概要



■ 経営陣へのフィードバック状況

種別	頻度
IR活動状況	四半期ごと
投資家との対話の内容	面談実施時

■ 主なテーマや投資家の関心事項

- ・ 利益率改善についての取組み
- ・ 事業環境の動向、当社の認識
 - －自動車市場、住宅設備機器市場、液晶・半導体市場の動向
- ・ 各事業における優位性
- ・ PBR1倍以上に向けての施策
- ・ 株主還元の強化

IR交流会を発足

(実施方法を検討中)

計画に対する進捗状況の説明など、今まで以上に積極的に対話の機会を設けることを計画しております

■ 株主・投資家との対話に基づく主な対応

要望	対応
PBR 1 倍以上に向けての施策を開示してほしい	本資料にて開示
株主還元を強化してほしい	増配、株主優待制度の拡充を実施

【注意事項】

資料の内容につきましては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りおよび当資料に掲載された情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切責任を負いかねます。

また、当資料に記載されている当社の現在の計画、戦略などは、当社が現時点で入手可能な情報を基礎として作成した見通しであり、これらの将来予測には、リスクや不確定な要因を含んでおります。

そのため、実際の業績につきましては、記載の見通しと大きく異なる結果となることがあり得ます。従って、当社として、その確実性を保証するものではありませんのでご了承ください。

藤倉コンポジット株式会社
人事総務部 総務広報チーム
TEL：03-3527-8412 FAX：03-3527-8330